

古い町並みと、歴史の残る町



海音寺
かいおんじ
地図 B-2

臨済宗妙心寺派、本尊は釈迦如来。常滑市指定文化財・桃山時代の鯛口(わにくち)や、墓地には最初の大野庄・支配者大野頼清、子の頼時といわれる石仏がある。織田信長の三男、信孝は天正11年(1583)賤ヶ岳の戦いで秀吉に敗れ、野間て自害。この寺で葬儀が行われた。境内に薬師堂があり、薬師如来を浜薬師という。
◎常滑市大野町3-11



東龍寺
とうりゅうじ
地図 C-2

大野の古刹。応永31年(1424)東岩恵全和尚が再興。浄土宗に改宗。明応4年(1495)夢のお告げにより、阿弥陀如来を比叡山から迎え本尊として安置した。桶狭間の戦い、本能寺の変のりには岡崎へ逃げ帰る途中の家康を助けたといわれる。常滑市指定文化財「古過去帳」をはじめ多数の寺宝が保存されている。境内に旧塔頭の甘露院がある。
◎常滑市大野町6-61



蓮台寺
れんたいじ
地図 C-4

正和三年(1314)一色左京大輔道秀の創建。花園天皇の勅願所で、1山17坊の巨刹であった。大師堂本尊は聖観世音菩薩像(常滑市指定文化財)。境内の古墳・寿山塚には宝経印塔があり、初代大野城主佐治駿河守宗貞の墓である。大野城落城の際、お江が蓮台寺に逃げ、松に衣をかけ井戸へ投身の如く装った「衣かけの松」や、逃げる手助けをするために固く閉じた「開かずの門」の伝説がある。その時持ち出した守り本尊の阿弥陀如来の掛軸が虫供養として伝わる。
◎常滑市小倉町5-66



宝蔵寺
ほうざいじ
地図 B-2

真言宗智山派、本尊は千手観音。昔は宮山にあり一色氏、佐治氏の熱心な祈願寺で栄えたが、佐治氏滅亡とともに現在に移った。知多新四国68番札所。「火伏せ観音さん」として火防札、雷除札が有名。
◎常滑市大野町3-30



洞仙寺
くわんせんじ
地図 C-2

浄土宗知恩院派、本尊は阿弥陀如来。信長時代に当地の豪商「薬屋市左衛門」開基の古刹である。墓地に徳川家康の伯母にあたる於万の方と夫・小八郎の墓があり、寺宝に家康直筆の軸物が一幅ある。また境内には大黒天を祀る堂があり、昔は参拝客にてぎわった。
◎常滑市大野町7-89



松栄寺
しゆくゑいじ
地図 D-2

天台宗。慶長年間の少し前に創建。本尊は阿弥陀如来。守護神として金毘羅大権現を祀る。「こんびらさん」と親しまれ、この通りは「こんびら小路」と呼ばれているが、その昔、内宮の神主や禰宜(ねぎ)が住っていたため「禰宜通り」とも呼ばれる。
◎常滑市大野町8-110



三光院
さんこういん
地図 C-4

時宗・真言宗智山派、知多四国67番札所蓮台寺の末寺。本尊に阿弥陀如来・聖観音・不動明王を安置により三光院という。正和3年(1314)小倉山城主・一色道秀が鬼門よけとして建立。聖観音像は常滑市指定文化財。
◎常滑市小倉町5-80



齊年寺
さいねんじ
地図 D-2

永平寺派、曹洞宗・萬松山齊年寺。本尊は釈迦如来座像。佐治家・菩提寺で四代の位牌所。また、廻船総庄屋 中村権右衛門家、豪商 浜島伝右衛門家、佐治家の重臣 粟津九郎兵衛家の菩提寺でもある。享禄4年(1531)宮山の大野城内に建立された。天正15年落城にて廃寺となるが、翌天正16年、家臣の粟津九郎兵衛により、大野町の現在地に再建。寺宝は二代城主佐治上野守為貞が寄進した雪舟筆の最高傑作、国宝「達磨大師二祖慧可断臂図」(京都国立博物館へ移管)や常滑市指定文化財「青磁香炉」など多くの寺宝がある。
◎常滑市大野町9-139



十王堂
じゅうおうどう
地図 C-2

地藏菩薩を中心に、左右に地獄の閻魔王を始めとする十人の冥府の王を祀る。数度焼失し、現お堂は弘化2年(1845)7月に再興。格子天井81面は、森高雅や名古屋の有名絵師の絵によって飾られている。
◎常滑市大野町8-60



市見堂
いちみくどう
地図 C-3

本尊は十一面観音菩薩。牛馬の市で市場町。市を見守るので市見堂と呼ばれた。幕末~明治ここで盛んな俳句活動があり、芭蕉の句碑や、活動した大野・俳人三代目大黒屋利兵衛(杉山巨扇)、小川月茶、岩橋水琴の句碑がある。
◎常滑市大野町10-24



蓮正寺
れんじゅうじ
地図 C-4

浄土宗の寺で「子育て観音」は佐治氏の乳母が創建したと伝えられる。各代の僧が熱心に念仏信仰を広め庶民の暮らしの中に息づかせた。「笠松」は常滑市指定天然記念物。
◎常滑市小倉町5-103



光明院
くわうみやういん
地図 D-2

真言宗醍醐派、本尊は大日如来。佐治駿河守為次の懇望により天正9年(1581)岡田村から現在の地に移し佐治家の祈願寺にした。当寺の藁沓(わらぐつ)大師は、足病除大師として有名。
◎常滑市大野町9-68



光明寺
くわうみやうじ
地図 D-3

浄土真宗、本尊は常滑市指定文化財・阿弥陀如来。小林の地にあったが兵火で、延徳元年(1489)現地に移る。江戸時代・山内に塔頭六坊、末寺40余を数えたため「おおてらさん」と呼ばれる。市指定文化財の法然上人絵伝や多くの寺宝がある。
◎常滑市大野町10-65



田中寺
たなかじ
地図 D-3

浄土真宗大谷派、本尊は阿弥陀如来。創建年月は不祥。初め天台宗寺院として創建され、その後、明応5年(1496)祐円法師が浄土真宗に改宗し、田中寺と改めた。その後、永禄年間(1558~1570)に現在位置へ移った。
◎常滑市大野町10-67



国宝「達磨大師二祖慧可断臂図」